

利用43名のうち回答17件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	留意している点・ご意見をふまえた対応・課題の解決
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	1	0	■部屋の方は、大分狭いと思います。体を動かすスペースが全くない。 ■以前の昭和町部屋も良かったが、移転後の環境整備をお願いしたい。	■1階・2階に加えバルコニースペース（ドームテント常設）も活用して、各スペースで違ったスタイルの支援ができるよう工夫しています。 ■全員で大きく身体を動かすプログラムの際は、近隣の公園（長池公園・長居公園）にてかかっています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	3	0	5	■実際、見ていない。	■直接支援に当たる職員は子ども10人あたり6人を配置しています。■そのうち有資格者（保育士、児童指導員）は4人を配置しています。 ■定例ミーティングでの研修（週1回）、全体研修（月1回）の他に、適宜外部研修を受講しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	0	10	■あまり、中に入る機会がないので、気にしていません。 ■事業所見学、フィールド見学がされていないので、わかりません。	（事業所見学・フィールド見学）■コロナ禍のため実施していませんでしたが、2024年度より再開いたします。見学は随時受け付けております。お気軽にお申込みください。（設備・環境のバリアフリー化）■事業所1Fはバリアフリーです。■2Fから3Fへの階段には手すりを設置しています。（情報伝達で留意している点） ■どすこいでは、コミュニケーションの際に①「具体的・肯定的・視覚的」②「見通しを立てる」③「自分で選ぶ」の三点に留意しています。 ■コミュニケーションツールとして「株式会社おめめどう」の視覚支援ツールを活用しています。 https://omemedo.ocnk.net/
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	1	0	1		■2023年3月より、「総合的支援の5領域」（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）および家族支援に係る計6項目に準じて個別支援計画を作成しています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	3	0	1		■昭和町部屋では、週末を中心に年間100日のフィールド活動を行っています。その際に集めた枝や竹・木の葉などを利用して、平日の街では創作活動を行っています。■自分たちで育てたお米・麦・野菜を使ったおやつ作りも実施しています。■街頭紙芝居の公演（月2回）、リトミック教室・鉄道教室・ハンクル教室・英語教室（各月1回）などの活動を展開しています。■季節・天候・子どもたちの興味関心に応じて、さまざまな活動を提供しています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	1	4	8	■知らない。 ■説明がない。	■コロナ禍により計画は控えていましたが、来年度は実施予定です。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	2	0	1		■ご理解いただけるよう、さらに丁寧な対応を心がけていきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	0	1	0	■動画などを見せてくれます。	■スタッフが送迎時等にその日の様子を動画等を通して説明しています。■児童発達支援管理責任者は電話、SNSでの情報共有を頻繁に実施しています。■またモニタリング以外でも必要に応じて、家庭訪問、来所していただいた面談を実施しています。ご遠慮なくお声がけいただければ幸いです。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	5	1	1		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4	5	6	■知らない。 ■説明がない。 ■コロナがあったので、皆で集まることができなかったと思います。	■どすこいでは2018年より家族会を組織し、セミナー・親睦会（お母さん同士のお話会、お父さん対象の飲み会OYAJI会）・フィールド体験会（森林再生ボランティア活動・カヌー体験）を実施してきました。■家族会は2020年以降コロナ禍のため活動を休止していましたが、2024年度から活動を再開します。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	3	0	2		■2024年1月、より迅速に苦情に対応するため、どすこいの苦情窓口を法人本部に変更しました。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	4	0	0		■連絡帳、活動アルバムのデジタル化を検討中です。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	0	0		■日々の活動内容については、Instagramで公開しています。■2024年度よりブログ（note）の再開を予定しています。■WEBでの情報発信だけでなく、印刷物（会報）の発行を準備中です。
	14	個人情報に十分注意しているか	13	0	0	4		■個人情報は鍵付き書庫に保管しています。■画像・映像については本人・ご家族の承諾をいただいたもののみ公開しています。

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	3	0	7	■何かあったら、お知らせが届くので、助かります。	■「非常災害対策マニュアル」、「防犯マニュアル」、「感染症対応マニュアル」の他、「交通事故対応マニュアル」、「怪我・救急搬送・失踪事故対応マニュアル」が策定されています。■2024年度よりご家族への周知・説明の機会を設けます。■毎年消防署主催による緊急対応の訓練を受け、定期的に練習を行っています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	0	1	10		■2024年度、非常災害の発生に備えた訓練を定例化します。■訓練の様子はSNS等で公開し、ご家族にも周知します。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1	0	0		■どすこいでは、支援の目標を「自立・自律」に置いています。■そのためにbest interesting of the child（目の前のその子どもが今一番興味を持っていること）を保障しようと務めています。■また、「自分で選ぶ」ことを学んでいたために、さまざまな場面で【出会う➡考える➡選ぶ➡決める➡行動する】という過程を経験していただいています。■さらに、社会性獲得のために「子どもたちだけの異年齢の遊び集団」が形成されるようサポートを行っています。■他方、思春期を迎えた年代には「何でもない場所」「ぼおとしていられる場所」「ただそこにいるだけでいい場所」が必要です。どすこいはそのような「誰でもいい場所」の一つであろうと頑張っています。■クラブ活動、進学、就職などで、ご利用が困難になられる中学・高校の時期であってもこれらの事柄は子どもたちの「自立・自律」に資すると信じています。■ご家族のご要望も伺いながら、どすこいでは可能な限りご本人の希望や思いに寄り添って参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	16	1	0	0		■みんなの輪には加わらないけれど離れた場所で森への感謝を発信している子、発見や感動がいっぱいあるけれど声に出来ない子、1対1なら思いを伝えられるけれど大勢の前では口ごもってしまう子、逆に大勢の前で自分の思いを伝えたい子…、子どもたちのアウトプットの様式は一人一人違います。■どすこいでは、アウトプットの多様性が認められ、一人一人が自分の思いをみんなと共有できるような「仕組み」を模索しています。■子どもたちの声に耳を傾けながら進めて参ります。

*1
放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責

*2
事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。